

7月 文月、今年も後半が始まりました。ロンドンオリンピックでは 女子サッカーに続き 男子サッカーが優勝候補スペインに開幕式前の予選初戦勝利をおさめました。期待しております。

平成24年7月13日(金)昼 副会長 赤堀彰夫氏 事務長 増田薫氏との面談。“早とちり”は 過去の事とし、事務長 増田薫氏は無論 会長 高木平氏には「“時”の経過 これ以上待て無い状況である事」を告げております。毎月の院内報、[康寿診報 第170号]においても 榛原医師会長 高木平氏はじめ 前以て提示し 皆さんに配付しております。我が医師会にとって 何を第一義に考えるか「榛南地区 吉田町までもが“ヨウ化カリの備蓄がなされる事”」早急に成すべき事、牧之原市 市長 西原茂樹氏、更に 静岡県医師会 会長 鈴木勝彦氏には この“意”伝えました。大切な内容であります。“拉致の解除”を含め 今以上“非を重ねる事 無き”を願い、処すよう 何度もお願いしております。

最近 私の“直なる言動”に対し 相手の“器”これが中途半端に見せ掛けのデカさだったりすると 余計に禍するのであるが、反動・反発がどデカいのは事実である。常々「人間 懸案事項に向かう時 特に Negative な内容であれば尚更 己を質し Openに 誤魔化し無く 前向きな道を開き・導けるか」と想うのであるが…。哀しいなかれ 相手の“器”これが透けて見えてしまう。筋違いからの誤魔化し 責任転換の横行する現世、糖尿病関連の勉強会の役を仰せ付かる中でも 同様の事が起こった。世話人代表 自らの“非”この訂正無き状況。勉強会等で何度か同席しても 私を避けて通ろうとする。「誰でも間違えは在る」これはよしとし「気付いたら “間[≡ 時]”を開ける事・“場”を避ける事無く 質す[≡ 正す]」肝に命じていきたい“事”と 考えます。

Jリーグ ジュビロ磐田 首位も狙える位置、“負けないジュビロ”を願います。J1 コソド -レ札幌 44歳 ゴン中山雅史 背番号 7月21日(土)「東日本大震災復興支援スペシャルマッチ」で ピッチに立ちました。次は J1 コソド -レ札幌のFWとして“ピッチでの雄姿” 待ってます。

「“成り行く儘・其れ成り”に 己の“意”これを晒し「“自然体”で 隠し立て無く “生身の人間”として 接していきたい」、今しばらくは「“書”を持ち 自己そして“事”の真相・真義[真偽]を 掘り起こす作業」これを 継続していきたいと考えております。

康寿診報170号 送らせて頂きます。